

魚類

約110種類の陸・淡水(たんすい)産魚類が大分県内で確認(かくにん)大分市に生息する魚類の中でレッドデータブックおいた2022の対象

されています。その中で42種類がレッドデータブックおいた2022に選定されています。しかし種は14種類しかいません。わたしたちは今住んでいる魚も大切にしていかなければなりません。

絶滅 EX

野生絶滅 EW

絶滅危惧ⅠA類 CR

絶滅危惧ⅠB類 EN

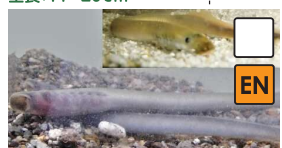
絶滅危惧Ⅱ類 VU

準絶滅危惧 NT

情報不足 DD

絶滅のおそれのある地域個体群 LP

1 スナヤツメ南方種 【生息場所】川



産卵期: 春期
全長: 14~20cm

4 アマゴ 【生息場所】川・沢



産卵期: 9月~11月
全長: 20~25cm

7 タカハヤ 【生息場所】川



産卵期: 5月~8月
全長: 10~15cm

10 モツゴ 【生息場所】川



繁殖期: 4月~8月
全長: 8~11cm

2 ニホンウナギ 【生息場所】川 汽水域



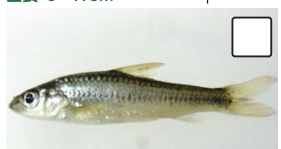
遡上時期: 1月~3月
全長: 40~100cm前後

5 カワムツ 【生息場所】川



繁殖期: 5月~8月
全長: 10~15cm

8 タモロコ 【生息場所】川



繁殖期: 4月~7月
全長: 8~11cm

11 カマツカ 【生息場所】川



繁殖期: 4月~7月
全長: 15~20cm

3 アユ 【生息場所】川 汽水域



産卵期: 10月~12月
全長: 10~30cm

6 オイカワ (上:オス下:メス) 【生息場所】川



繁殖期: 5月~8月
全長: 10~15cm

9 ムギツク 【生息場所】川



繁殖期: 4月~7月
全長: 10~15cm

12 コイ 【生息場所】川・池



繁殖期: 4月~7月
全長: 60cm前後

13 ギンブナ 【生息場所】川・池



繁殖期: 4月~6月
成魚は全長: 15~20cm

16 アカザ 【生息場所】川



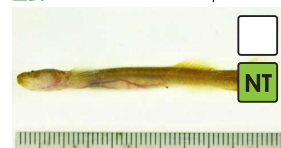
繁殖期: 4月~6月
全長: 10~15cm

19 シマヨシノボリ 【生息場所】川



繁殖期: 5月~7月
全長: 6~7cm

22 イドミズハゼ 【生息場所】川



繁殖期: 10月~3月
全長: 6~8cm

14 ドジョウ 【生息場所】川 田んぼ



繁殖期: 5月~8月
全長: 8~20cm

17 ナマズ 【生息場所】川



繁殖期: 5月~6月
全長: 60~70cm

20 カワヨシノボリ 【生息場所】川



繁殖期: 5月~7月
全長: 4~6cm

23 クボハゼ 【生息場所】川



産卵期: 1月~2月
全長: 3~4cm

15 シマドジョウ 【生息場所】川



繁殖期: 4月~8月
全長: 8~20cm

18 ミナミメダカ 【生息場所】川 田んぼ



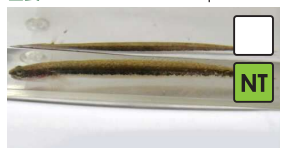
産卵時期: 4月~9月
全長: 3.5~4cm

21 ドンコ 【生息場所】川



繁殖期: 4月~7月
全長: 15~25cm

24 ヒモハゼ 【生息場所】磯 汽水域



繁殖期: 5月~8月
全長: 5~7cm

タモロコに似ますが、モツゴには口ひげがなく、タモロコの方が寸胴(すんどう)体形をしています。泥底(どろぞこ)のよどみに住んでいます。大分市ではクチボソと呼んでいます。

水が少しきれいな所で、流れがゆるい所を好みます。オイカワと住み分けをしています。大分市ではアカバエなどと呼んでいます。

石の下や水草などに卵をうみ、他の魚にたく卵もします。雑食で、口から尾ビレに1本の黒色の線が入ります。大分市には昔(1980年ごろ)はいませんでした。

雑食性。ほほにミミズ状の小豆(あずき)もようが入ります。うまれた子どもは海へ下り、2~3ヵ月間を海でくらした後、またうまれた川にもどってきます。

雑食性。やや肉食で、水生昆虫を食べます。胸ビレの条数(じょうすう)が他のヨシノボリより少ないです(15~18)。海へは下らず、川の中流・上流で一生活を送ります。

きれいな川の中流・上流で、オスが巣を作り、そこでメスに産卵させます。体色はかっ色で、3対の黒い斑紋(はんもん)があります。自分と同じ大きさの動物にもおそいかります。

タモロコに似ますが、モツゴには口ひげがなく、タモロコの方が寸胴(すんどう)体形をしています。泥底(どろぞこ)のよどみに住んでいます。大分市ではクチボソと呼んでいます。

下を向いた口と1対の口ひげがあります。水生昆虫や有機物を底砂(そこすな)ごとすいます。砂だけをエラあなから吐き出します。近くにエサを求めてシマドジョウがきます。

一度の産卵数は20万~60万個もあり、口ひげがあります。雑食性で、寿命(じゅみょう)は15~20年です。まれに70~80年も生きるものもいます。釣りの対象魚になっています。

体は細長くミミズのように、井戸の中に住んでいた例もあり、イドミズハゼと名前がつきました。河口の水がわく砂泥(さいでのい)の中に住んでいます。有機物などを食べます。

干潟(ひがた)の砂底(すなぞこ)や砂泥底(さいでのい)で見られ、スナモグリやアナジャコなどの巣あなを利用します。婚姻(こんいん)色はメスにあらわれ、体全体が黒くなり、腹部(ふくぶ)が黄色味をおびます。

細長いハゼで、アナジャコなどのあなを産卵の場所やすみかとしています。干潟面積の減少や水底の変化、水底の汚れでその数は減ってきています。

写真提供: ①~⑫松尾敏生

写真提供: ⑬~⑳松尾敏生